情報リテラシー(第2回)

Webシステムの活用 (TeamsとForms)

授業の目的

本日の授業では、以下の点について学ぶ。

- TeamsとFormsの基本を知る
- 使い方と違いを理解する
- 実際に少しだけ体験する

TeamsとFormsの基本

ツール	定義・説明	主な特徴
Teams	チャット,通話,会議ができるコミュ ニケーションツール	ファイル共有,通知,スレッド返 信,リアクション
Forms	アンケートやテストを作成・配布し、 結果を集計できるツール	自動集計,リンク配布,グラフ表 示,出欠確認にも使える

⊗ 目的に応じて使い分けるのが大切!

- ♥ やりとりや連絡 → Teams
- 回答の収集や集計 → Forms

Teamsでやってみよう (操作体験)

作業項目:

- 1. Teamsを開く
- 2. 教員やクラスメイトにメッセージを送る(例:「こんにちは」)
- 3. スタンプや反応も使ってみる

確認欄:

- [] Teamsにアクセスできた
- [] メッセージを送信した
- []リアクションを試した
- 操作できるほど、Teamsに慣れてきている証拠!

Teamsマナークイズ:これはアリ?ナシ?

- 1. チャネルに毎日「おはよう!」投稿 → ナシ(通知乱発)
- 2. 間違って投稿しても削除しない → ナシ(混乱のもと)
- 3. 「@全員」を何度も使う → ナシ (通知多すぎ)
- 4. リアクションだけで返信しない → △ (内容による)

Teamsのマナーを確認しよう

- @全員 は本当に必要なときだけ
- スレッド返信を活用しよう
- 投稿は簡潔・丁寧に
- 間違えたら編集・削除で対応
- 他人の投稿を茶化さない

ケーススタディ:どのツールが適切?

以下のケースについて,「Teams」「Forms」**どちらを使うか**を考えよう.理由も説明しよう.

ケース	シチュエーション	ツール	理由
A	クラス全員から今日の授業の感想を集めたい	[]	
В	質問にすぐ答えてもらいたい	[]	
С	出席確認を自動で取りたい	[]	
D	複数人でプロジェクトの進捗を共有したい	[]	
Е	緊急連絡をすぐに伝えたい	[]	

♪ グループで話し合って、意見をまとめよう!

模範解答と解説 (ケーススタディ)

ケース	ツール	解説
Α	Forms	回答を一覧で集計したいから
В	Teams	双方向のやりとりに向いている
С	Forms	自動集計・出欠管理が便利
D	Teams	会話やファイル共有がしやすい
E	Teams	即時通知が可能で見落とされにくい

唆 使い分けのポイント:

- **②** 双方向・やりとり → Teams
- **iii** 集計 記録 → Forms

発展課題・気づき

発展課題(時間に余裕がある人向け)

- Q 発展課題A:自分の生活にあてはめてみよう
 - TeamsとFormsは、学校生活のどんな場面で使えそう?
 - 部活・趣味などに応用できる?
- **◇ 発展課題B:グループ活動でどう活かせる?**
 - チームで企画を立てるとき、どちらのツールをどう使う?
 - クラスでイベントをやるとしたら?

発展課題のコメント欄(できたことや気づいたことを書こう)

これはアリ?ナシ? (チャットで答えよう)

次のシーンでのリアクション、あなたはどう思う? → チャット欄に「〇・×・△」で答えよう!

シーン	リアクション
先生「レポート明日までです」	
先輩「ありがとう!」	
後輩「バイトクビになった…」	25

▶ 教員がチャットから意見を拾ってコメントします!

あなたならどうする? (リアクション+コメント)

- 「友達がテストで赤点を取った」と言ってきたとき、どれを送る?
- 「先生から『提出期限は明日です』」と言われたら?
- ☑ チャットに「リアクション+一言コメント」で書いてみよう!
- 例) 😢 「それはつらいね…次がんばろう!」

リアクションマークのマナー

- 相手との関係や気持ちを想像しよう
- 迷ったら、一言添えると誤解が減る
- 仲が良くても、「ふざけ」は伝わらないことがある
- リアクションも「情報発信」の一部!
- ◆ 最後に:「今後リアクションを送るとき,気をつけたいこと」をチャットに一言書いてみよう!

まとめ・振り返り

本日の重要ポイント:

- TeamsとFormsは目的や場面に応じて使い分けることが大切
- ツールの特徴を理解し、使いこなせるようになること
- 今日の難しかったこと、理解できたことなどをメモしておこう